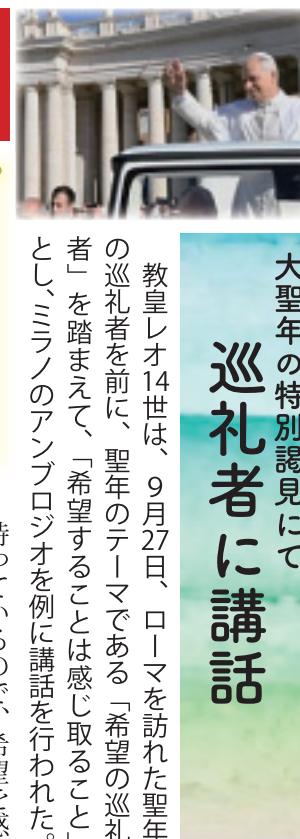


教皇レオ14世 大聖年は私たちを希望の巡礼者とする



大聖年の特別謁見にて 巡礼者に講話

教皇レオ14世は、9月27日、ローマを訪れた聖年の巡礼者を前に、聖年のテーマである「希望の巡礼」とし、ミラノのアンブロジオを例に講話を行われた。

神は小さき者に ご自分を現される

教皇は講話で、特に「感じ取る(intuire)」という動詞に焦点を当てた。それは靈の動きであり、心の知性を表す言葉であり、イエスが特に小さき者たち、すなわち謙遜な心を持つ人びとに見いだされたもので、神がご自分を現すことができるように、心と頭に空間を持つことである。感じ取ることは、到來しつつある神の國に対する「小さき者の嗅覚」であると教皇は説明し、まさに福音にしたがつて小さくなり、神の夢を感じ取り、それに仕える者となるようにと勧められた。

単純な人びとの第六感

学識ある人びとは、単純な人びとは違つて、しばしば自分が知つていると思ひ込むため、あまり感じ取ることができないと教皇は述べ、神の民の中に新しい直感が芽生えるとき、そこから希望が生まれると強調された。小さき者たちは、「信仰の感覺(sensus fidei)」を

だかテクメナ(洗礼志願者)アンブロシウスは当時まだカテクメナ(洗礼志願者)を司教に!」。すると民全體が同じように叫んだ。

聖アントニオの物語
民の直感の力から生まれた希望の例として、教皇は4世紀ミラノの聖アントニオシウスの物語を挙げた。彼は司教になる前、ミラノの知事だったが、傾聴と仲裁の優れた力をもつて、混乱のさなかにあつた教会に平和をもたらしたと教皇は語った。

「当時、教会は大きな対立に引き裂かれ、新しい司教の選出がまさに暴動にならうとしていた。その時、ひとりの子どもの声が響き渡った。「アンブロシウスを司教に!」。すると民全體が同じように叫んだ。

「感じ取ること」は「希望すること」の一つの形
「感じ取ること」は「希望すること」の一つの形

聖アントニオの物語

は、神のことに対する単純な人びとの「第六感」のようなものである。神は単純であり、単純な者たちにご自分を現される。だからこそ、信じることにおいて神の民には無謬性があり、その無謬性を教皇の無謬性が表現し、奉仕しているのである。

召命において キリスト者になること

今日、私たちが願うべき恵みは、受けた召し出し(召命)の中でキリスト者になることである。あなたが母であるなら、父としてキリスト者になりなさい。父であるなら、父として企業家であれ、労働者であれ、教師であれ、司祭であれ、修道者であれ、それぞれの道の途上でキリスト者になりなさい。神の民にはこの「嗅覚」がある。その嗅覚によって私たちがキリスト者になりつつあるかどうかを見抜くのである。そして、私たちを正し、イエスの方に向示してくれる。

こうして教会は、「小さき者たち」から、最も偉大な司教の一人、そして教会博士を持つことになった。教皇はこのように説明し、アンブロシウスは司教になることでキリスト者となつたと語った。

教に叙階された。こうして教会は、「小さき者たち」から、最も偉大な司教の一人、そして教会博士を持つことになった。

アントニオは拒み、逃げたが、それが神の呼びかけだと悟り、洗礼を受け司教に叙階された。



12 2025

発行所
大阪市中央区玉造2-24-22
カトリック大阪高松大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
FAX (06) 6946-3223(直通)
E-mail: kyokuho@ostk.catholic.jp
編集
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訊」
あります。
※ご希望の場合は
下記まで申込み——
「点訳版(点字本)」
[E] 06-6946-3224(直通)
「音訊(テープ・ディジタル)」
[E] 山口さん ☎ 0798-22-1649

☆☆☆☆☆
クリスマス関連行事・ミサ時間
司牧者からうじの一冊
教区典礼研修会
池田教会(大阪)堅信式
△聖体祝会へのEメールアドレス=kyokuho@ostk.catholic.jp

3面

☆☆☆☆☆
性虐待被害者のための祈り
岸和田地区「宣教の月」ザベリオ宣教会
社会福音化部2015年から
〔5・6面〕
〔7面〕
聞かせてください、神様と出会った時のこと
『教区報』原稿・資料等の締切は
前々月末です。

〔4面〕

〔2面〕

10月19日 教区行事

INTERNATIONAL DAY インターナショナルデー

毎年この日にカテドラルで行われる国際ミサは、身動きが取れないほど立ち見で溢れかかる。そこで今年は内陣奥深くにも会衆用の椅子を並べ、四方から祭壇を開むアリーナ形式にした。主の食卓を開むミサは壮観だった。

午後からはプロテスタント教会との共催で交流会が開かれた。危ぶまれた雨も上がり、曇り空の涼しい日和となつた。各國料理の香ばしい匂いが食欲をそそり、舞台では珍しい民族舞踊や会場を巻き込んで踊る躍動的な演技が披露された。

このように数千人規模の大行事を行うには裏方の奉仕者の力が必須だ。日

ちが奉仕活動に集まつた



アリーナ形式で四方から祭壇を囲む
実行委員会



ベトナムの青年たちのパフォーマンス



入居者、スタッフ募集中



株式会社 ガラシア WINGS
サービス付き高齢者住宅

ドムス ガラシア

入居者を募集しております。
また、看護師、介護職員を募集
しております。皆様ご協力を
お願い申し上げます。

☎ 06-4960-8020

✉ info@gratia-wings.jp

担当 奥本、濱口



てくれた。ゴミ処理やテント撤収など影の労働をこなしてくれた高校生たちの働きぶりに、誰もが惜しみなく拍手をして勞つた。

国籍を越え、世代を超えてINDは続く。10月第3日曜のINDはいつの日か「祭り」となつて心に刻まれ定着してゆくだろう。

国籍を越え、世代を超えてINDは続く。10月第3日曜のINDはいつの日か「祭り」となつて心に刻まれ定着してゆくだろう。

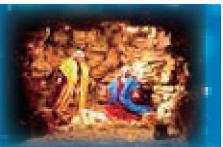


2020年9月、尼崎市園田教会の隣に開業。信徒修道者、司祭のケアを提供。



2025

クリスマス・新年(神の母聖マリア)ミサ時間一部 Christmas・New Year(Holy Mary, Mother of God)Mass time



姫路地区

★姫路教会 079-222-0043
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 10:00
 ・1月 1日(木) 10:00
 *すべて日本語(Japanese)

★加古川教会 079-422-2870
 ・12月24日(水) 19:00
 *多言語ミサ(日本語・English・Vietnam)
 ・12月25日(木) 9:30 日本語
 ・1月 1日(木) 9:30 日本語

神戸地区

★北須磨教会 078-791-3788
 ・12月24日(水) 18:30
 ・12月25日(木) 10:00
 ・1月 1日(木) 10:00
 *すべて日本語(Japanese)

★たかとり教会 078-731-8300
 ・12月24日(水) 20:00
 ・12月25日(木) 9:00
 ・1月 1日(木) 9:00
 *すべて日本語(Japanese)

★兵庫教会 078-575-5294
 ・12月24日(水) 18:00
 ・12月25日(木) 11:00
 ・1月 1日(木) 11:00
 *すべて日本語(Japanese)

★鈴蘭台教会 078-593-0025
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 9:30
 ・1月 1日(木) 11:00
 *すべて日本語(Japanese)

★垂水教会 078-707-4434
 ・12月24日(水) 18:00 日本語
 ・12月25日(木) 10:00 日本語
 ・12月31日(水) 18:00 Tagalog
 による感謝ミサ、ミサ後パーティー
 ・1月 1日(木) 10:00 日本語

★六甲教会 078-851-2846
 ・12月24日(水)
 17:00/19:00/21:00
 ・12月25日(木) 7:00/10:00
 ・1月 1日(木) 7:30/10:00
 *すべて日本語(Japanese)

★三田教会 079-562-4404

・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 9:30
 ・1月 1日(木) 11:00
 *すべて日本語(Japanese)

阪神地区

★甲子園教会 0798-41-1602
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 9:30
 ・1月 1日(木) 9:30
 *すべて日本語(Japanese)

★夙川教会 0798-22-1649
 ・12月24日(水) 17:00/19:30
 /22:00
 ・12月25日(木) 10:00
 ・1月 1日(木) 9:00/11:00
 *すべて日本語(Japanese)

★宝塚教会 0797-72-4628
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 9:30
 ・1月 1日(木) 9:30
 *すべて日本語(Japanese)

★仁川教会 0798-51-0176
 ・12月24日(水) 18:00/21:00
 ・12月25日(木) 10:00
 ・1月 1日(木) 10:00
 *すべて日本語(Japanese)

★尼崎教会 06-6481-4235
 ・12月24日(水) 日本語
 17:30 子どもミサ(演奏あり)大人参加可
 20:00 INTERNATIONAL Mass
 (English・Spanish・Portuguese・
 日本語)
 ・12月25日(木) 9:30 日本語
 ・1月 1日(木) 9:30 日本語

北摂地区

★池田教会 072-751-2400
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 10:00
 ・1月 1日(木) 11:00
 *すべて日本語(Japanese)

★茨木教会 072-622-4442
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 11:00
 ・1月 1日(木) 11:00
 *すべて日本語(Japanese)

★高槻教会 072-675-1472

・12月24日(水) 17:00/20:00
 ・12月25日(木) 9:00
 ・1月 1日(木) 7:00/ 9:00
 *すべて日本語(Japanese)

★吹田教会 06-6388-1083

・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 10:00
 ・1月 1日(木) 10:00
 *すべて日本語(Japanese)

★箕面教会 072-721-2734

・12月24日(水) 19:30
 ・12月25日(木) 10:00
 ・1月 1日(木) 0:00/10:00
 *すべて日本語(Japanese)

★日生中央教会 072-766-1519

・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 11:00
 ・1月 1日(木) 11:00
 *すべて日本語(Japanese)

北地区

★香里教会 072-834-3800
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 9:30
 *すべて日本語(Japanese)

南地区

★生野教会 06-6757-1792
 ・12月24日(水) 19:00 日本語
 ・12月25日(木) 10:00 korean
 ・1月 1日(木) 10:00 日本語

★玉造教会 06-6941-2332
 ・12月24日(水) 19:00 日本語
 /22:00 English

・12月25日(木) 0:00
 INTERNATIONAL Mass
 /10:00 日本語/19:00 クリスマスの
 聖歌(Vietnam)/19:30 Vietnam
 ・1月 1日(木) 0:00
 INTERNATIONAL Mass
 /10:00 日本語
 /14:00 English/15:30 Korean
 /18:30 Vietnam

岸和田地区

★泉南教会 072-482-3668
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 8:30

★浜寺教会 072-261-1563

・12月24日(水) 19:00
 *18:55キャンドルサービス
 ・12月25日(木) 9:30
 ・1月 1日(木) 9:30
 *すべて日本語(Japanese)

和歌山地区

★新宮教会 0735-22-3260
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 9:00

香川地区

★小豆島教会 0879-62-0847
 ・12月24日(水) 14:00
 ・12月25日(木) 14:00
 *すべて日本語(Japanese)

★桜町教会 087-831-7455

・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 10:00
 *子どもと高齢者とともにさげる
 クリスマスミサ
 ・1月 1日(木) 0:00/10:00
 *すべて日本語(Japanese)

★丸亀教会 0877-22-9620
 ・12月24日(水) 19:30
 ・12月25日(木) 10:30
 ・1月 1日(木) 10:30
 *すべて日本語(Japanese)

徳島地区

★徳島教会 088-626-2060
 ・12月24日(水) 20:00
 ・12月25日(木) 11:00
 ・1月 1日(木) 10:00
 *すべて日本語(Japanese)

愛媛地区

★今治教会 0898-32-2348
 ・12月24日(水) 19:00
 (ミサ前にキャンドルサービス)
 ・12月25日(木) 10:00
 ・1月 1日(木) 10:00

高知地区

★江ノ口教会 088-872-2277
 ・12月24日(水) 19:00
 ・12月25日(木) 10:00
 ★赤岡礼拝所 12月25日(木) 14:00



クリスマス行事 Christmas events



★子どもたちによる聖劇

12月24日(水) 18:30
 場所: 加古川教会聖堂
 主催: アグネス会 079-422-2870
 申込・参加費: 不要

★クリスマスキャロル

12月24日(水) 18:00
 場所: 明石教会聖堂
 主催: 明石教会聖歌隊
 078-911-6330
 申込・参加費: 不要
 ※バイオリンやピアノ演奏など

★クリスマスキャロル in 名谷

12月13日(土) 14:00~15:00
 場所: 名谷駅前広場
 主催: 北須磨教会 078-791-3788
 申込・参加費: 不要
 ※よく知っているキャロルを歌います。
 どなたでもご参加ください。

★子どもたちによる聖劇

12月24日(水) 17:00

★聖母マリアに捧げる

感謝のコンサート

12月28日(日) 11:30
 場所: 垂水教会聖堂 / 主催: 垂水教会
 078-707-4434 (月曜のみ)
 申込・参加費: 不要
 ※歌による感謝の祈り

★クリスマスの集い

12月21日(日) 10:30~12:00
 場所: 香里教会聖堂
 主催: 香里教会 072-834-3800
 申込・参加費: 不要
 ※聖歌歌唱、朗誦劇など

★クリスマス音楽の集い

12月21日(日) 14:00
 場所: 六甲教会主聖堂
 主催: 六甲教会音楽チーム
 078-851-2846
 申込・参加費: 不要

※教会聖歌隊や信徒を中心としたメンバー
 がクリスマスの音楽をお届けします。

★Missa Pater Noster

(主の祈りの主題によるミサ曲)
 12月13日(土) 14:00 0798-22-1649
 場所: 夕川教会聖堂
 主催: 声楽アンサンブル プサルムス
 申込・参加費: 不要 (但し要整理券)
 ※パレストリーナのミサ曲のコンサートで、
 ミサではありません。

★クリスマスキャロル

12月14日(日) 15:30
 場所: 阪急箕面駅前特設ステージ
 主催: 箕面市内キリスト教13教会
 申込・参加費: 不要 荒天中止
 問合せ: 箕面福音教会 072-722-8506
 ※箕面市内キリスト教13教会による
 合同クリスマスキャロル

★飯盛山麓クリスマスフェスタ

12月21日(日) 14:00~16:00
 連絡先: 090-6605-3465(高橋)
 講演: 中谷光さんご夫婦他
 (茨木市千提寺の隠れキリスト教徒)
 場所: 大東教会聖堂 / 主催: 大東教会
 申込・参加費: 不要

★パシャワール会支援

クリスマスチャリティコンサート
 12月21日(日) 13:30
 場所: 枚方教会聖堂 072-841-5333
 主催: 枚方教会

申込・参加費: 不要

※アンサンブル ルパンの合唱
 バイオリン独奏 / 枚方教会聖歌隊合唱

★第13回しろきた市民クリスマス会

12月20日(土) 13:30
 場所: 今市教会聖堂 06-6951-5018
 主催: 大阪旭朝穂会
 ※申込・参加費: 不要

★聖夜の祈り 06-6941-2332

12月24日(水) 16:50
 場所: 大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂
 主催: カトリック玉造教会 申込・参加費: 不要

★第16回 クリスマスコンサート

12月21日(日) 13:30 (13:00 時開場)
 072-261-1563
 場所: 浜寺教会聖堂 / 主催: 浜寺教会評議会
 第一次締切 12月7日(日) (空席次第で対応します)
 申込: TEL、FAX、Google フォームより
 参加費: ¥500 (小学生以下無料)
 当日 全席自由
 ※ピアノ、バイオリン演奏、お話

★クリスマスコンサート

12月20日(土) 13:30~
 場所: 新宮教会聖堂 0735-22-3260
 主催: 新宮教会 申込・参加費: 不要
 ※市民 6団体が出演

★若葉幼稚園の園児たちによる聖劇団と
 クリスマスの集い

12月13日(土) 9:00~11:30
 ★フィリピン人コミュニティのクリスマス
 英語ミサとパーティー

12月21日(日) 13:00
 ★ベトナム人コミュニティのベトナム語ミサ
 洗礼式とクリスマスパーティー
 12月28日(日) 13:00
 ミサ後コンサートとコンテスト
 場所: カトリック今治教会 0898-32-2348

★初金・小さなコンサート

12月 5日(金) 11:00 087-831-7455
 場所: 桜町教会
 主催: 初金準備担当グループ
 申込・参加費: 不要
 ※松浦信行神父のクリスマス曲演奏など

★子どもたちのキャンドルサービス

12月24日(水) 18:30~19:30
 088-626-2060
 場所: 徳島教会 / 主催: 徳島教会日曜学校
 申込・参加費: 不要
 ※聖堂前の庭につくられた馬

人工知能と生命科学の急速な進展の中で、人類の未来に対する根源的な問いを投げかける一書です。本書は、現代においてますます重要性を増している信仰と科学の対話を促す、貴重な機会を私たちに提供してくれます。

技術が力や不死を約束する時代にあって、私は改めて「人間とは何か」という問いに立ち返る必要があります。カトリック信仰において、真の「人の神」はキリストであり、知恵・尊厳・愛の源であら



教区内の司祭が記憶に残る、また心に残った書籍を司祭紹介を兼ねて掲載。今回は、トマス・ティアゴ神父が担当。



【プロフィール】

トマス・ティアゴ神父 <ボアノバ宣教会>
生年月日：1989年4月7日（現在36歳）



2010年～12年 聖アウグスティノ共同神学校（モザンビーク・マトラ市）哲学学士課程修了

2015年～18年 ポルトガル・カトリック大学(ポルトガル)
神学 統合修士課程 修了

2021年～22年 聖トマス・アクィナス大学(モザンビーク) 哲学学士号取得
2022年～24年 ECC国際日本語専門学校(大阪・梅田) 日本語課程修了

【職歷】

【歴史】
2020年 マリア・アウシリアドーラ教会(モサンビーグ・ベンバ)にて司祭叙階。21年セミナリオ・ダ・ボア・ノヴァ(全寮制神学校)学長として勤務。22年から泉南・紀の川・岬・香里園・武庫之荘・園田・桜町各小教区で協力司祭として奉仕。2025年9月～現在 観音寺および伊予三島小教区担当司祭に任命される。

恵みに満たされた堅信の秘跡



9月28日、秋晴れのもと、酒井俊弘補佐司教を迎へ
堅信式が行われた。

が堅信の秘跡にあづかってた。酒井俊弘司教主司式と中村克徳神父の共同司式のもと、受堅者は按手と聖香油を受け、信仰を証しまする決意を新たにした。

聖堂を埋めた約160人の信徒は心を合わせて祈り、受堅者の上に聖靈の恵みが注がれるよう願つた。

酒井司教は説教で「堅信式は受堅者だけのものではない」と語り、すべての信徒が、自らの信仰を問いつめ直す幾会とするよう促した。



『ホモ・デウス』は信仰を脅かすものではなく、むしろそれを清め、深める契機となります。そして、知性と靈性を結ぶ学びの道を示し、現代社会のただ中で信仰をもつて生きるキリスト者を力強く励ましてくれるのです。



高松で初めて開催する教区典礼研修会

「典礼」と聞くと、特殊な部門で馴染みが薄いと感じられることが多いので、「形」よりも、典礼が目指す精神を学ぶ場とし、香部屋準備・侍者・祭壇奉仕者・朗誦奉仕者とその準備に必要な内容と典礼を生きるためにともに学びたいと思つた。

教皇フランシスコは、「ルーツを大事に」と呼び掛けっていたが、同じ言葉が教会にも言える。歴史は「紀元前」と「紀元後」があり、前者はキリストへの準備、後者はキリストから



典礼が目指す精神と原旨に触れる

工24〕この三つ、
であり、全力を尽
を愛し、隣人を愛
に繋がる。神の民
と生活の遊離をな
に信仰体験を現実
年を通して裏付け
書を読み、典礼
して祝つた。

日常生活の中でさまざま
なシンボルを用い、目の前
に見えるしるしとした。ユダヤ教のシンボルを展
し、典礼と生活の深い関連
性を学ぶ機会となつた。

参加者は、典礼「当番」
ではなく「奉仕」であるこ
とを心に刻み、各地に派遣
された。

◆ おすすめの店（場所）

池田教会から北へ10分ほど
で阪急池田駅に着きます。駅
前には再開発された池田駅南
広場があり、新しい店舗が並
んでいます。また、教会のすぐ
東には、世界的に知られる
カップヌードルミュージアム
もあります。



A photograph showing the interior of a church. The view is from the back of the church, looking towards the altar. There are wooden pews on both sides. The altar area has a simple cross on a stand. The ceiling is made of wood and has several small lights.

- ◆ 守護・十字架の聖パウロ
- ◆ 住所・池田市満寿美町9-126
- ◆ 設立年月日 1955年12月
- ◆ 信徒数 792人
- ◆ ホームページ

▼▼▼
- ◆ 特色



神への賛美と感謝を捧げ踊るフィリピンコミュニティ

参加者の声

●主催者側として、多くの方がたとともに、この恵みの時を過ごせたことを心より感謝いたしました。

マリア布教修道女会の姉妹方より、多くの苦労や支えについてお話しいただき長い年月をかけて信仰と愛を伝えてこられた証しに、私たちは心を動かされました。

フィリピンの方がたによる、ミサの中で祈りと喜びに満ちた舞が披露され、まさに「信仰が生きている姿」として参加者の心に響きました。

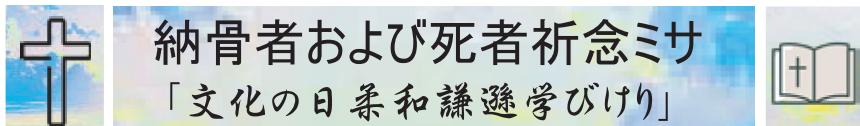
聖ザベリオ宣教会からは参加者全員で、一緒に踊るひとときがあり言葉や文化の違いを越え、喜びを分かち合う姿に豊かさと希望を感じる時間となりました。

最後に行われた聖体顯示式と派遣の祝福では、私たち一人ひとりが「希望をもって生きる宣教者」として、新たに派遣されていくように感じました。

(文 熊取教会信徒 松山広樹)

●主の愛の普遍性を深く感じました。宣教は言葉や行動を越えキリストの御心を映す生き方そのものだと気づかされました。マリア様の静けさと献身、ザビエルの燃えるような情熱、その双方が一つに結ばれる場でした。聖体の前に沈黙する時、神のいのちが世界へと流れ出す現実を感じました。私自身も小さな宣教者として、愛の証しを生きたいと祈りました。この体験を通して宣教の源が聖体の中にありますことを心に刻みました。

(文 浜寺教会信徒 柳 雅人)

言葉や文化の違いを越え、ともに踊った
「文化の日 和謙遜学びけり」

11月3日、大阪高松カトリック聖マリア大聖堂では前田万葉大司教司式のもと、また桜町教会では、松浦信行神父と高山徹神父司式により、それぞれ「納骨者および死者祈念ミサ」がささげられた。

前田大司教は説教の中で、「聖徒の交わり」とはこの世の手のうちに一つに結ばれいることだと語られた。諸聖人の手のうちに一つに結ばれていた聖人たちを「たたかれた」といふことだといふ。死者の日には、すでに天にいる聖人たちを「たたかれた」といふ。そのため祈り、私たちは死者を次ぎを願う。死者の日には、まだ清めを必要とする人びとのために祈り、私たちは死者と互いに助け合うことができるのだといふ。また、「復活がなければ信仰はむなしい」(コリント15・17)との言葉を引用し、死を越えて続くなつた親や友人にも、祈りを通して感謝と愛を伝えられ



桜町教会納骨堂祝福の様子

最後に引用された「疲れた者は私のもとに来なさい」という主の言葉に、参列者は深い平安を感じながら、それぞれの大切な人を思い、祈りをささげた。

また、桜町教会では約20人が参加した。祭壇前には遺影を飾り、天上の教会と地上の教会のつながりを示した。ミサ後、四国カトリック会館地下納骨堂で納骨櫃祝福が行われ、参加者がそれぞれ家族や知人の納骨櫃の扉を開き、松浦神父から祝福をいただいた。その後、高山神父と行ったカトリック墓地への墓参には信徒2人が参加し、信仰の先輩の安息を祈った。

(文 広報委員会)

諸民族の中で生きる宣教者



10月5日、泉佐野教会で岸和田地区「世界宣教の日の集い」を開催した。生憎の雨の中ではあつたが、地区の9教会から約70人が参加した。

プログラムとして今年は特に岸和田地区に本部を置く聖ザベリオ宣教会日本宣教75周年、同じく本部を置くマリア布教修道女会創立80周年という年聖ザベリオ宣教会創立者グレイド・マリア・コンフォルティが前年列聖されたことを記念して、宣教会の主催として開催された。

2018年地区に引き継がれ、コロナ過の年以外、13年にわたり毎年、地区行事として行われている。

聖ザベリオ宣教会から、カメルーン・コンゴ・ブルンジより今年来日し、これから宣教師としての道を歩み始める4人の若者を紹介され、アフリカの歌い踊る情熱に満ちたミサの様子も映像と共に紹介された。

後半は聖体顯示式が行われ、小教区の共同体だがキリストの肢体として良く結ばれた共同体であり、それは

(文 紀の川教会信徒 前田しのぶ)

教月間を通して皆がクリスチに任命された宣教者であるという自覚を新たにし、教会に集う全ての人びと、事情で教会に来られない人びと、時には教会外の人びとをも巻き込みながら「共に歩む教会」となるため、聖体に養われ強められながら歩みだす決意を与えた。恵みに感謝する日となつた。

(文 紀の川教会信徒 前田しのぶ)

岸和田地区 世界宣教の日の集い

長年にわたる聖ザベリオ宣教会、マリア布教修道女会の司祭方が神と信徒一人一人を繋ぐ架け橋として、惜しみなく働かれただ結果でもある。この「宣教の日の集い」また、宣

第6回性虐待被害者のための祈りと償いの日 テゼによる祈りの集い

10月22日、大阪サクラファミリアにおいて、「第6回性虐待被害者のための祈りと償いの日」テゼによる祈りの集い」が行われ、スタッフも入れて10人あまりの人蔵が参加しました。

初回から同じプログラムを用い、聖書を默想しテゼの祈りで多くの苦しんでいる方々のために心を寄せる目的です。

集いの中でのメッセージ

は、ハラスメント対応委員会の委員長が、2022年9月2025年までのハラスメント対応委員会に寄せられた相談の集計を報告しました。(詳細分析は別の機会に譲ります)この3年半で370件の相談が寄せられ、子どもの頃のハラスメントが、成人に

なつてからもフラッシュバッ

クするという深刻な状況が寄せられていることが特に報告されました。

され、セクシュアル・ハラス

メントの根深い影響に心を痛ませられたと語っていました。

また、セクシュアル・ハラ

スメントの相談件数が少なくなつてきていることに関しては、相談する環境が変化しているのかどうか、今一度調査する必要があると語りました。

今回は、「近くの会場に観劇のために来たので、祈るために来ました」との親子がしつ

かり祈つてくれたことが印象的です。今回も広報が遅くな

り、皆さまへのアピールがおろそかになつたことを、委員長はお詫びしました。

少しずつ、ハラスメントが訴えやすいように、それを共同体で解決できますようにと心を新たにした祈りの集いでした。

(文 ハラスメント対応委員会)

かり祈つてくれたことが印象的です。今回も広報が遅くな

り、皆さまへのアピールがおろそかになつたことを、委員長はお詫びしました。

少しずつ、ハラスメントが訴えやすいように、それを共同体で解決できますようにと心を新たにした祈りの集いでした。



平和の巡礼者として「もっと社会とかかわる教会となるために」

社会福音化部門の今年の歩みをふりかえり、「新たな年」を迎えるにあたって
私たちの進むべき道を、あらためてご一緒に考えてみませんか。



平和の巡礼者として、ともに祈り、歩み続ける

社会福音化部門長 さかい としひろ 酒井 俊弘補佐司教



今年、私たち大阪高松大司教区社会活動センター・シナピスは、年間テーマ「戦後80年、平和の巡礼者として、祈り、行動しよう」を掲げて歩んできました。6月に開かれた「社会福音化部門のつどい」では、「もっと社会とかかわる教会になるには」について共に考え語り合い、それぞれの小教区共同体が「社会の中でキリストの福音を証しする」ものとなろうという意識を新たにしました。

新教皇レオ十四世の就任演説の第一声「平和が皆さんと共に」という言葉は、分断と対立に満ちた全世界に希望の響きをもたらしました。日本のメディアも「世界が紛争と分裂の時代にある中で、教皇が〈架け橋〉としての役割を果たしてほしい」と期待を込めて伝えました。

6月、日本カトリック司教団は「戦後80年司教団メッセージ『平和を紡ぐ旅—希望を携えて』」を発表し、「平和のために働くとするとき、わたしたち自身の神との関係、人々との関係、自然環境との関係を振り返り、神の前に望ましい関係であろうと回心し、対話することなしには前に進めません」と呼びかけました。さらに同日に公表された「核兵器廃絶宣言2025」では、「キリストの福音に従い、対話を通じた平和の実現を目指し、すべての人の生命と尊厳を守るために、核兵器を完全廃絶するよう強く求めます」と述べました。

8月5日、教皇レオ十四世は原爆投下80年にあたりメッセージを発表し、「世界的な緊張と紛争が激化する現代において、広島と長崎は〈記憶の象徴〉として立ち上ります。…わたしたちは、正義と兄弟愛と共に善に根ざしたグローバルな倫理を築かなければなりません」と述べられました。

大阪高松大司教区では、平和旬間を拡大し、7月・8月を「平和月間」とし、平和に関する祈りや学びの活動が行われました。

そして10月、教皇は使徒的勧告 Dilexi te (「わたしはあなたを愛した」)を発表され、「貧しい者の中でも最も貧しい者たち一物質的なものだけでなく、発言権や尊厳の認識さえも欠いている者たちは、神の心の中に特別な場所を占めています。…キリストは彼らの中で苦しみ、復活し続けているのです」と教えられました。

今年受けたこのような多くの恵みと照らしを生かして、来年も「平和の巡礼者」として、祈り、学び、行動する教会でありますように。



「平和月間」をふりかえって



まつうら けん 松浦 謙神父

今年教区で新しい試みとして行われた2か月の平和月間のテーマは、「希望と平和の巡礼者となろう」でした。時間的なゆとりができたため、参加者も増え、内容も深まったように思います。

2019年に訪日された前教皇フランシスコは、広島「平和の集い」の際に、「思い起こすこと、共に歩むこと、守ることの3つは倫理的命令です。この3つには平和となる道を切り開く力があります」と言われました。上記の3つのポイントが今年の平和月間行事にどのように活かされているか、教区報に掲載された79教会からの報告と各地区の代表者による評価会(10/25)に基づいて総括してみます。

【思い起こす】 戦争の記憶を風化させず、次世代に継承していくかねばなりません。被爆者で核兵器廃絶運動を進める方の話を聞いたり、沖縄戦を体験したこどもたちの証言を学ぶ企画がありました。平和祈念講演会を開いたり、戦争記録映画やDVDを視聴したり、8/6の広島平和巡礼に参加したグループもありました。その他、戦時中拘留された外国人司祭たちがいたこと、阪神間や四国でもあった空襲など、戦争がもたらす惨劇を振り返り、犠牲者のために祈り恒久平和を祈念しました。

【共に歩む】 「子どもと共にささげる平和ミサ」をはじめ、青少年に積極的に参加を促したり、平和を祈るコンサートが開かれました。最近増えた外国籍の信徒も加えて、共に考え、祈ったり、近隣の人々に案内ポスターを配布し参加を呼びかけた教会もありました。

【いのちを守る】 現在の世界情勢に焦点をあてた小教区もありました。ミャンマー、モザンビーク、ウクライナ、中東ガザを始め、世界各地での武力衝突、紛争の現実を取り上げました。これらの戦乱のため、多くの人が犠牲になり、人権が脅かされ、さらなる難民が発生しています。今年のサブテーマ「苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道」にあるように、“いのちを守るための行動を身近なところから始めよう”との思いを共有しました。今年の平和月間を通して、教区民がそれ熱心に祈り、真剣に考え、平和への決意を新たにしたことに「希望のしるし」があると思います。「平和は可能である」という確かな希望を抱いて歩み続けましょう。

↓ キ リ ト リ 線 (下記の破線で切り取ってご使用ください。) ↓

シナピスでは、毎月「シナピスニュース」を発行しています。	
シナピスの活動は、皆さまのご寄付やご支援で運営しています。活動の内容は、ぜひ「シナピスニュース」をご覧ください。	
<p>「シナピスニュース」(無料) ご希望の方は下記まで。</p> <p>TEL:06-6942-1784 FAX:06-6920-2203 *ホームページ https://sinapis.osaka.catholic.jp/</p>	

払込取扱票		通常払込料金 加入者負担
02 大阪		
口座番号		百 十 万 千 百 十 番
0 0 9 6 0 - 7 -		6 1 4 1 9
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	*
料金	特殊取扱	
カトリック大阪高松大司教区 シナピス		
おところ・おなまえ * 寄付の指定をお願いします(□を入れて下さい) <input type="checkbox"/> 難民移住者支援 <input type="checkbox"/> こども基金 <input type="checkbox"/> 活動運営費 <input type="checkbox"/> 指定なし 2512 J 該当する方は□を付けて下さい。 □匿名希望 □領収証不要 おところ・おなまえ 〒 (電話番号) — —) 裏面の注意事項をお読みください。(郵政事業庁)(私製承認大第30228号) これより下部には何も記入しないでください。		
ご依頼人・通信欄	受付局日附印	

払込金受領証		
0 0 9 6 0 - 7 -		通常払込料金加入者負担
百 十 万 千 百 十 番		
6 1 4 1 9		
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	*
料金	特殊取扱	
カトリック大阪高松大司教区 シナピス		
おなまえ * ご依頼人 様 受付局日附印 特殊取扱		
切り取らないで郵便局にお出し下さい。 記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。		

ともに歩むためにナンボいる

シナピス事務局 ピスカルド篠子

私たちの社会は「ともに歩まない」方向に突き進んでいるかのようです。夏の国政選挙では、堂々と外国人排斥が叫ばれ「多文化共生社会」の声はかき消されました。そんな社会のなかで教会は愚直に「ともに歩もう」と語りかけます。私たちもまた愚直に、排外主義の逆風の中で続けた今年の活動をふりかえります。

① 難民が運営するシナピスカフェ

生野の街角で細々と営む無料カフェは、この12月で5周年を迎えました。特筆すべきは、大阪朝鮮高校の生徒たちと難民との交流が芽生えたことでした。

② 能登被災地ボランティア

シナピスでは定期的に難民や海外ルーツの若者を連れて能登半島へ赴き、奉仕活動に汗を流します。

「皆さん日本人の1.5倍働く」と大好評。入管も「良い社会貢献だ」と仮放免者たちの能登行きには旅行許可を出します。「私は必要とされている」との実感は、生きる力に繋がります。



能登被災地で元気いっぱい活動する難民移住者たち

③ 乳幼児の難民を救おう

私たちが支援する難民の中には子連れの家族もあります。入国情もない難民申請者は就労を禁止され自活できないのに、政府は支援金を出し済るのが現状です。公助を断たれると、たちまち

脆弱な乳幼児が死活問題に陥ります。そこでシナピスでは、期間を絞って緊急援助を呼びかけました。すると、なんとたった3ヶ月で約200万円もの募金が寄せられたのです。この温かさ、心強さといったらありません。懐に余裕ができれば気持ちも豊かになり、元気を出して難民家族に関わるぞ、との思いがわいてくるものです。お金がなければ「ともに歩もう」は絵空事で終わります。交通費があれば赤ちゃんに救援物資を届けたり、幼児を公園に連れて行ったりする人が現れます。支援者の中には生活保護受給者もいて、「この社会の生き辛さが分かるから」と協力してくれます。問われるのは、「誰とともに歩むのか」です。溢れる情報を鵜呑みにしない、無力感に負けない。そして、排除する側に立たない。希望の巡礼は続きます。



「人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか」

シナピス運営委員

西口 信幸



今年の待降節、そして降誕節を、亡くなられた教皇フランシスコにお捧げします。

前教皇が、亡くなられる前の日にもガザへの定期電話で微笑まれていたことは忘れることができません。いつも、辺境に追いやられた人、深く傷ついた人の元に真っ先に出かけて行き、自分のことのように共に苦しまれ、一人の人間として接してこられました。コンゴの性被害者とゆっくりと語られたあと、「暴力とあきらめに『ノー』、和解と希望に『イエス』と言おう」という言葉を残されました。前教皇は、教会が支えている社会の罪の根深さの中で、それでもなお、「諦めずに粘り強く、出かけていき、共に在る」ことが私たちの信仰の証しであることを身をもって教えてくださっていたのだと思います。



ガザで行われているジェノサイド、民族浄化は私たちが生きている「資本主義社会が生んだ原罪」です。教会もその罪から逃れることはできません。イエスの生まれた聖地で、何の罪もない子どもたちが殺され、逃げ惑い、今日を生き延びるだけの生を生きています。イエスが十字架に架けられたこの地を、2000年守り続けたパレスチナの民が死の苦しみにありことに77年間、目を背け、加担してきました。はっきりとした民族浄化、ジェノサイドを見てきた世界は、この2年間も、ずっと目を瞑り続けています。トランプの「平和」という、まやかしの言葉に救われたように、忘れ去ろうとしています。

私たちの教区には、社会福音化部門が置かれています。様々な理由で、社会の片隅に追いやられている人、差別される人たちから学ぶためのグループが作られ、それぞれの場で聴き、働き、祈る活動をしています。教会の中で祈ることと同じように、社会の中での「祈りの実践」としての大切な務めとされています。多くの信徒の皆さんがあなたを向けて、足を運んでくださることを願いながら、主の再臨を待ち望む待降節、今年も「瓦礫のイエス」を待ち望み、ともに祈る恵みが与えられますよう願っています。

↓ キ リ ト リ 線 (下記の破線で切り取ってご使用ください。) ↓

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
(郵政事業)

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

社会活動委員会（社活）との協働

シナピスには、各地区の社活の活動を後押しする役割があります。学習会への協力など、ぜひご相談ください。社活の定例会は、委員の皆さんと顔を合わせての情報交換の場として、これからも大切にいたします。

シナピス移動学習会の予定

◎岸和田地区 2/1(日) 14時～ 泉佐野教会「基本的なことを知りたい！難民とは？在留資格とは？なぜ大阪高松教区でやっているの？」

◎阪神地区 2/8(日) 14時～15時半 尾川教会「バビロン捕囚が意味するもの。」
講師：内坂 晃牧師（日本基督教団）

日本カトリック看護協会 バングラデシュ訪問



シスターが90年間経営する看護学校で寮生とともに

バングラデシュ人民共和国は、ガンジス川下流に位置し、ベンガル語を話す1億6000万人強の共和国。イスラム教が九割を占め、カトリック看護協会BCNG(以下BCNG)年次総会で講師を依頼され、渡航した。現地は高温多湿で、日本の梅雨末期の気候が年中続く。2026年には後発途上国から脱するが、看護師の給与は月200ドル、公務員の安い年金を除けば多くは年金がない。また800人ほどの聖ヨゼフ教会のミサ参加者に350人程が未亡人であり、夫が亡くなると女性だけでは就職もままならない。現地の社会文化的特徴か……。

司祭は未亡人の集まりを開催し、精神的に支援している。また教区の障がい児をケアするホームを訪問した。特別支援教育という概念もまだない。年金のない退職看護師にケアを提供してもらう施設をBCNG本部顧問司祭が計画しているが資金がない。修道女会の看護学校を訪ねたが解剖を学ぶ人体モデルもなく教材が足りない。子どもの70%が下痢のためBCNG本部副会長は下痢の研究所勤務とのこと。まだ都市下水も整備がない。カトリック信者は0.34%であり日本と同程度の少数派だ。BCNGへの看護演習教材や障がい児の支援ができる方は、日本カトリック看護協会寄付口座へお願ひしたい。

(文 国際カトリック看護協会アジア地域会長
/日本カトリック看護協会会長 清水裕子)

聞かせてください 神さまと出会った時のこと ～エマオへの道で～

第18回 馬込 新吉 神父
(マリア会・大阪明星学園理事長)

めてください」という祈りをしたことがない。それはあまりにも自分の力に頼りすぎている。

本当にそのよう

私の信仰の下地は、自分の生まれた長崎の黒島にある。人口の80%以上がカトリック信者のこの島で生まれ育つたことが理由である。

小学校高学年になると、愛苦の「あねしやん」に公教原理を教えてもらう。あねしやんの情報を頼りに、各修道会や神学校の先生方が島に募集に来る。私も声がかかり、マリア会海星中学の志願院に進んだ。まだ日本が貧しかった時代、海星に入れば白いご飯が食べられると出た。都会へのあこがれもあり、島を出るさみしさは感じなかつた。

私の召命には、黒島の信者の生活と、私の周りにいたシスターの力が大きく働いている。

私の叔母に二人のシスターがい

た。函館のトラピスチヌにいた

叔母は、1年に1回、毎年必ず手紙を送ってくれた。当時、年

間三通しか出すことができない

私が司祭への道に進んだ一番の理由である。

小学一年になると、愛苦の「あねしやん」に公教原理を教えてもらう。あねしやんの情報を頼りに、各修道会や神学校の先生方が島に募集に来る。私も声がかかり、マリア会海星中学の志願院に進んだ。まだ日本が貧しかった時代、海星に入れば白いご飯が食べられると出た。都会へのあこがれもあり、島を出るさみしさは感じなかつた。

私の召命には、黒島の信者の生活と、私の周りにいたシスターの力が大きく働いている。

私の叔母に二人のシスターがい

